

# 市場価格の安定に期待！

## 2024年4月から本格始動 容量市場とは？



### 1 容量市場とは？

将来にわたる電力の供給力を確保する市場のことです。発電所等の供給力が全国でオークションにかけられ、2024年度のオークション落札総額は約1兆6,000億円となっております。そのうち1兆4,650億円を全国の小売電気事業者が電力供給の規模に応じて負担することとなります。

### 2 容量市場の目的とは？

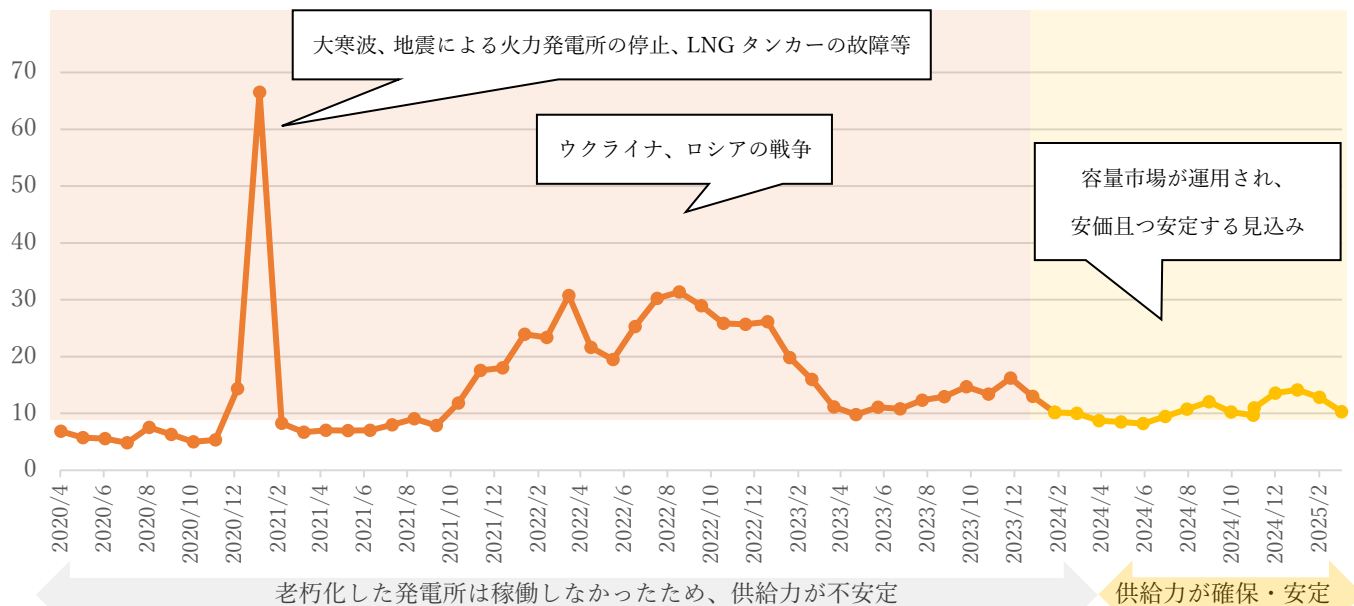
老朽化した発電所の維持管理が十分ではなく、需給ひっ迫時に電力を供給できず市場価格が高騰した背景があり、下記を目的として市場が創設されました。

- ①発電所の建設が適切なタイミングでおこなわれることで、将来の供給力をあらかじめ確実に確保すること。
- ②供給力の確保によって電力価格の安定化を実現し、電気事業者の安定した事業運営や電気料金の安定化などの消費者メリットをもたらすこと。

### 3 容量市場本格運用開始後の電気料金は？

中長期的な視点から、供給力の減少に伴う卸電力市場の価格の高止まりを抑制する効果が期待されます。そのため、市場価格連動型プランの料金安定化のメリットが期待されます。

### 4 卸電力市場の価格推移イメージ



【出所】※日本卸電力取引所 東京エリア市場価格実績および TOCOM (2024年1月19日時点、東西ベースロード平均)

※2023年12月までは実績値、2024年1月以降は先物価格であり、お約束するものではありません



# 2024年度の容量拠出金 電気料金への反映について

## 1 適用単価（2024年度）

- 特別高圧・高圧（容量拠出金相当額）：1kWhにつき、2.75円（税込）
- 低圧（容量拠出金等料金）：1kWhにつき、2.75円（税込）

※高圧以上は2024年4月1日以降、  
低圧は2024年4月検針日以降の料金より上記単価を適用いたします

※低圧（容量拠出金等料金）は市場連動手数料に内包されます  
（市場連動手数料 = 管理手数料 + 容量拠出金等料金）

## 2 適用単価の算出方法

容量拠出金は、全国の小売電気事業者に対し、各事業者の供給する電力の規模に応じて負担を求められるものとなります。そのため当社では、お客様の電力使用状況に応じ、ご負担をいただくことといたします。

<適用単価の算定式>

$$\text{適用単価（円/kWh）} = \text{当社の容量拠出金負担額（円）} \div \text{販売電力量（kWh）}$$

<お客様のご負担額>

$$\text{ご負担額（円）} = \text{適用単価（円/kWh）} \times \text{ご使用量（kWh）}$$

## 3 容量拠出金とは

2024年度より全国大で電力の供給力確保のための容量市場が本格的に運用されます。供給力確保に伴う2024年度の費用（容量拠出金）は全国で約1兆6,000億円となっており、このうち約1兆4,650億円を、全国の小売電気事業者が、供給する電力の規模に応じて追加的に負担することとなります。これは、中長期的に電力の供給力を確保し、需給ひっ迫などによる電気の市場価格の高騰を抑えるために必要な費用であり、当社としても、お客さまに広くご負担をいただくこととさせていただきます。